



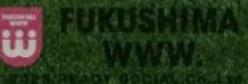
SPORTS

Fukushima www

「若者とイノベ企業の マッチングフェス～ツアーオンライン開催事業！」

©Copyright 2025 READY SOCIAL inc. All Rights Reserved.

READY SOCIAL株式会社
代表取締役 佐藤 夏美



READY SOCIAL CO., LTD.

事業内容

- 02-1: 女子サッカー事業
- 02-2: 自治体連携事業
- 02-3: SIM事業
- 02-4: 森林事業



難指示区域の状況 (2015年9月5日時点)



チーム全員移住者
女子サッカーチーム設立
選手/スタッフ/関係者
2025年16名が移住
2026年も移住者増加中

2030年まで
130人の移住目標

取り組みの概要と目的

【イノベ構想及び本事業に対する考え方】

課題



継続的な交流・
関係人口の呼び込み



担い手人材の確保と
事業継続性



自立的・持続的な
地域連携体制

考え方（アプローチ）



若者に「ワクワク」を発信し、
興味関心を喚起



補助金に頼らない自立的・
持続的な事業モデル構築

【事業提案の目的と全体像】

目的



農林水産部門の若者・アスリートをターゲットにコンテンツ開発

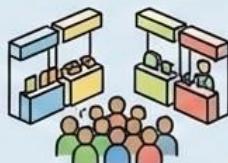


事業内容の2本柱

①フェスティバルの開催



展示会×フェスで
「ワクワク」体感。
パネル討論も実施。



②ツアーの開催

フェス参加者が
企業を体験・見学。
より深い関心へ。



実施工エリア：浪江町、大熊町、双葉町

取り組みの概要と目的

事業内容の詳細：フェスティバルとツアー

①フェスティバルの開催 (展示会×フェス形式)

狙いと特徴



認知向上と『ワクワク』の体感、熱量を直感的に伝達



若者が未来に希望を感じられる場を創出

主な内容



事業者紹介ブースでのピッチ実施



専門家によるパネルディスカッション



オンライン配信・アーカイブ化で拡散

②ツアーの開催 (体験・見学)

狙いと特徴



フェスで関心を持った、感度の高い層を集客



現場体験と当事者の想いに触れ、深い理解へ



関係人口・雇用創出につながる確かな接点



フェスとの連携

フェス会場での告知と参加者募集



熱量の高い参加者をツアーへ誘導し、質を向上

フェスで関心を高め、ツアーへ誘導

取り組みの概要と目的

実施計画とコンテンツ検証

①実施計画 (エリア・会場)



実施工業:
浪江町、大熊町、双葉町



実施会場:
福島RDMセンター |
會澤高圧コンクリート



将来計画:
2年目以降は双葉町FUTATABIに
て継続開催検討

②コンテンツ検証 (パネルディスカッション)



目的
今後の取り組みへの検証、モデル施策の形成。会場からの質疑応答も実施。



パネリスト

- ・ 開沼博 氏 (東京大学准教授、震災復興研究)
- ・ 阿部翔太郎 (株式会社Re Fruits、LINEヤフー株式会社)
- ・ 佐藤夏美 氏 (READY SOCIAL代表、女子サッカーチームを通じた移住)



検証議題

- a: 若年層の流入に必要な受入自治体の要素
- b: 地域課題関心層とのマッチング可能性
- c: 農林水産業とアスリートのセカンドキャリアマッチング可能性
- d: イノベ構想エリアに求められる連携
- e: 来場者アンケートからのモデル施策形成

フェスティバル

■ 実施内容

※右記参照

□ 情報発信に関する実施内容

- ①学生実行委員による声かけ
- ②地方創生学生団体へ声かけ
- ③大学掲示板での掲示
- ④学生によるSNS発信
- ⑤大学生就職マッチングカフェでの呼びかけ

□ 市町村との連携

(前提)選手の雇用先を浪江町内などで事前に情報収集していた経緯があり、企業との連携体制は当社の強み

【浪江町】

- ・産業振興課:企業紹介
- ・農林課:農業法人紹介
- 今後更に情報共有など連携強化を図る

IF
Don't Think, Feel!

かつて3.11でゼロになった
フクシマだから感じられる

大学生・若手社会人向けキャリアイベント

「令和7年度福島イノベーション・コスト構造イノベ地図訪問者受入体制構築事業」として、福島イノベーション・コスト構造推進機構より受託しています。

参加費無料：1/17～18(土,日)

パネルディスカッション登壇者
「わたしたちがチャレンジした理由」

ゼロから女子サッカーチームを立ち上げ
佐藤 夏美
READY SOCIAL株式会社

1982年、福島県須賀川市出身。2012年土木学会設立、2019年広島会議設立。2020年中國大連音楽大学サッカーチーム立ち上げスピーカンパクシドに取り組む
2025年茨城県女子サッカーチームを設立。
社会課題X-ワークにより課題解決に取り組む

空間と現場を行き来するフィールド浪江大准教授
関根 博
東京大学大学院准教授
東日本大震災・原子力災害対策上級研究員

1984年、福島いきき田舎塾、3.11震災から被災地を中心とした研究を行なう。復興と地域コミュニティに対する実践や教育を行なう。研究対象は「土地と地元」。双葉郡の復興に寄り添い続け
る。社会に一番近い学者。

24歳で東北最大のキウイ農園運営
阿部 雄太郎
株式会社 Re Fruits 共同代表

2001年神奈川県横浜市生まれ。慶應義塾大学在学中に、サークル活動で通っていた大曲塾に移る。貧困と就業環境で失われた町の特産品・キウイの再生のため、株式会社ReFruitsを共同創業し、東北最大のキウイの園「アキウイの園」を開設している。

参加
申込みは
コチラ ➤

QRコード

また、ご質問がある方は以下の窓口まで
お問い合わせください。
問い合わせ先: info@readysocial.co.jp
主催企業: READY SOCIAL株式会社

TURN ME
OVER!

車内も「フクシマ」「イノベ」を知る
コンテンツ満載

7:00 東京駅出発
東京駅丸の内中央口徒歩1分
丸ビル北側集合
事前にお手洗いは済ませてきてください

10:00 東日本大震災・原子力災害伝承館見学
2011.3.11にフクシマで起こった事実
福島の復興の現状と、
人々が直面した現実を理解し
困難を乗り越え、
希望に向かって進む人々の姿から、
社会貢献や未来への行動について
考えるきっかけを得られる

12:00 企業からの「リングピッチ」
企業担当者/社長がリングにあがる理由
会社の成長ストーリー、
直面した困難、
乗り越えた経験を、
まるで戦いの場である
リングの上から、
参加者に向け熱く叫びます

13:45 ①パネルディスカッション
「わたしたちがチャレンジした理由」
2人のチャレンジャーと3.11前からフクシマを知る教授のパネルディスカッション
②参加者とのオーブントーク
人生にIFがあったらあなたなら何する？！
参加者一人ひとりが自分自身の人生やキャリアを
やらない理由を捨てて考えてほしい

当日のご連絡は080-9813-9550（担当READY SOCIAL株式会社 佐藤）までお願い致します。

2025 AUG
31 開催

Event & Discussion

「IF_me」イベント趣旨説明



企業リングピッチ「なぜ _フクシマでチャレンジするのか」



MITSUI TRAFFIC	
株式会社 宮田運輸	
創業	昭和33年6月17日
代表	宮田 博文 (小野)
社長	宮田 哲治 (小野)
所在地	大阪府高槻市
年商	48億6000万円
従業員数	305名
保有台数	163台
事業内容	一般貨物自動配送事業 倉庫業
事業所	福島県、1事業所
兵庫県	2事業所
愛知県	2事業所
岡山県	1事業所
福岡県	1事業所
埼玉県	1事業所
福島県	1事業所
計	13事業所

企業ブース/質疑・マッチング



パネルディスカッション / 質疑



「 IF_me 」END PHOTO



【現地参加者】68名
【オンライン】35名
※参加大学等 (一部抜粋)

【関東圏】	東京大学	昭和女子大学
早稲田大学	日本大学	法政大学
慶應義塾大学	筑波大学	東京理科大学
山梨大学	イグニション	東京都市大学
【関西圏他】	静岡大学	東北大学
立命館大学	神戸大学	立命館アジア
京都大学	京都経済短期	京都橘大学

【参加企業数】12社※参加企業 (一部抜粋)

(株)ちーの	會澤高圧コンクリート(株)
大和ライフネクスト(株)	(株)宮田運輸
(株)バイオマスレジン福島	環境再生プラザ

先端産業経営者 大学生らと交流

浪江

持った若者が、浜通りなどで事業展開する企業と交流するイベントが8月31日、浪江町請戸地区で行われた。

県内の先端産業に関心を

双葉郡を中心にしてスポーツビジネスを手掛けている「READY SOCIA L」（大熊町）が主催。全

国から参加した大学生ら約60人が、約10社の経営者から浜通りで始めた新規事業などについて聞いた。

請戸地区に研究開発・製

造拠点を開設した「会沢高圧コンクリート」（北海道

苫小牧市）の会沢大志副社長は、復興に向けた取り組みの要点を聞かれ、「地域の歴史を大切にしながら、地域全体の流れと一体になることだ」と答えていた。筑波大学の小沢日真梨さん（22）は「地方の事業革新の事例を知る貴重な経験だった」と話した。

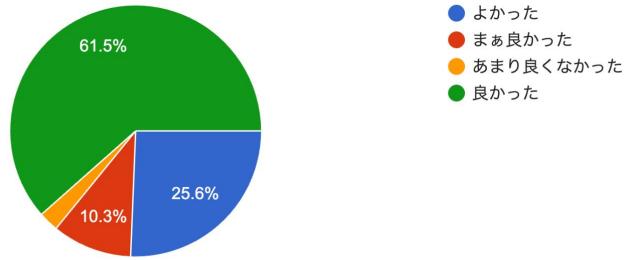


企業経営者らに質問する学生ら
(8月31日、浪江町請戸で)

効果検証（39名回答）

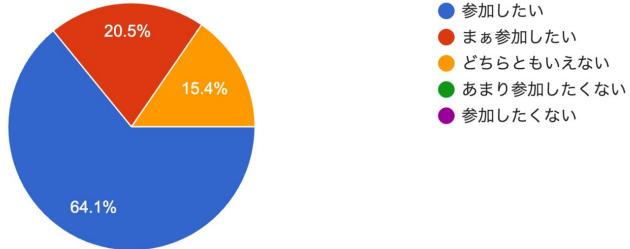
Q1当プロジェクトの内容はいかがでしたか？

39件の回答



来年以降も同様のツアー等があれば参加したいですか？

39件の回答



Q1の回答を選択した理由を教えてください

。

39件の回答

福島での挑戦を通して輝く人たちの姿を見ることで、人の可能性を感じることができたから。

いろんな企業の方のお話を聞けてよかったです

直接事業者さんと話す時間が無いなどの時間の制約が大きかった。しかし震災についての知見と現在進行形で町を盛り上げようとしている方々のお話を聞いて良かった。

プログラムのスケジュールにもう少しゆとりがあると嬉しかった。内容はとで満足です。

色々な企業の話を聞くことができたから

福島県を拠点に新しいことに挑戦している企業や事業の方の話を聞けて今まで自分の知らなかったキャリアのあり方を知ることができたため。また同時に自分の今後のキャリアについても考え直し、もっと新しいことに挑戦しようと思えたから。

福島といえば東日本大震災で原発事故の被害を受けたというイメージが強かったが、今回のイベントを通してそこから復興して福島をもう一度盛り上げようとしている皆さんの活動を知れたため。

自分が高校生という立場で、大学生や社会人向けのイベントに参加出来たことはとても良かった。震災によって0になった福島浪江町を中心とした地域に実際に足を運んで、何がその地で起り、今に至るのかを知ることが出来、これから生きる上での知恵なども吸収することが出来たことです。

今まで福島に訪れたことがなかったのですが、福島の歴史であったり、そこに根付いて行動を起こされている方のお話を聞くことによって、新しい学びを得ることができました。

学生たちの目の色が輝いていたので。

いろいろな企業さんの話がきけたので、自分の今後の活動に生かしたい。

双葉郡で活躍する企業の話を聞けた

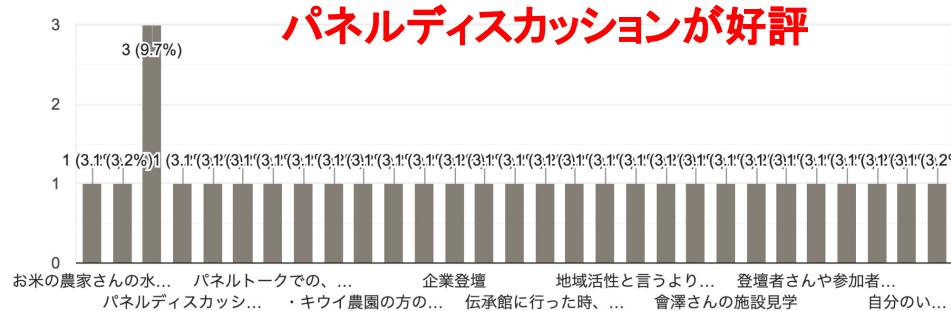
期待していたもの以上の学びと気づきがあったからです。

色々な話や考え方を聞いて、視野が広がりました！

効果検証（39名回答）

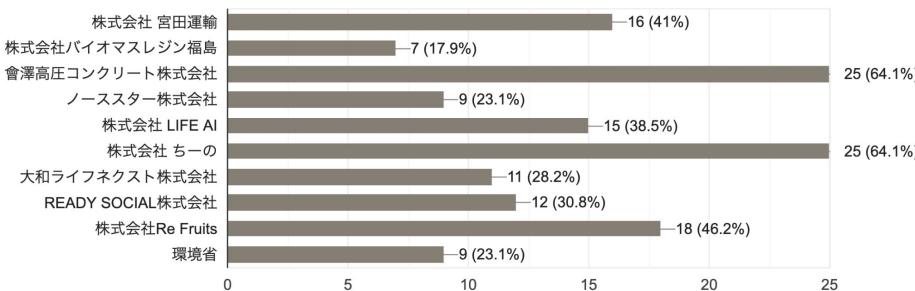
このイベントで最も印象に残ったことはなんですか？

31件の回答



興味を持った企業はありましたか？（複数回答可）

39件の回答

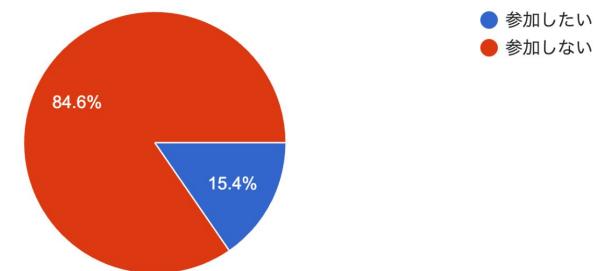


【要因分析】

良い点	改善点
実施の目的と評価が一致していた。	スケジュールがタイトになり過ぎ参加者に負荷であった
「過去から未来のアプローチ × 革新性」は特に評価が高かった	ツアー内容の告知をフェスティバルで告知ができず、ツアーの失敗に原因となった
参加者には事前にオンラインを開催し、趣旨説明や参加者の課題などをヒアリングしていくことが評価につながった	ツアー参加者の前日や出発時の体調管理に配慮が足らず、現地到着できなくなってしまった

9月25～9月26の一泊二日の見学体験のツアーに参加したいと思いますか？

39件の回答



次年度以降の事業計画等：地域での継続的な自走に向けて

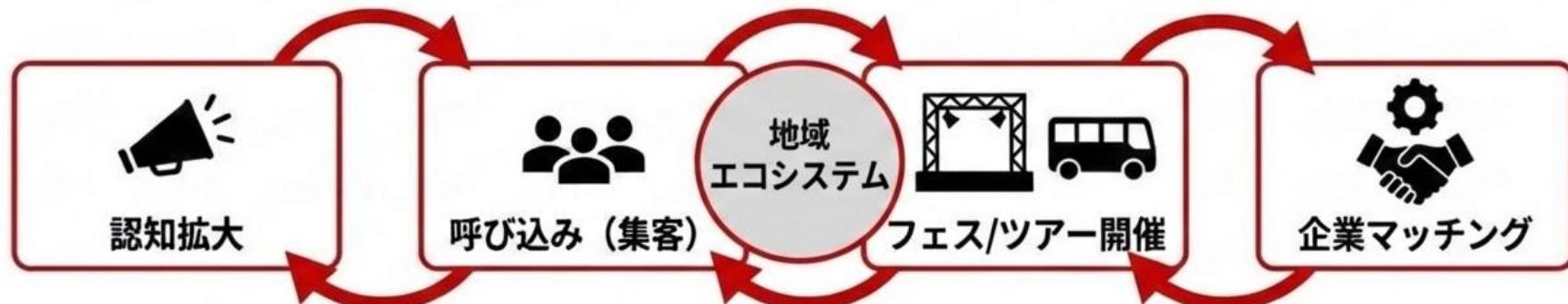
現状と基盤：FUKUSHIMA WWW.

- READY SOCIAL運営のFUKUSHIMA WWW.にて、選手やスタッフが一次産業や他産業に雇用者として関与。

大熊町・浪江町・双葉町で活躍する当社が主体となり、地域に根差した活動を展開。

今後の展開：地域づくり共同事業組合の設立検討

- 自治体との連携により、自主事業として「地域づくり共同事業組合」の立ち上げを検討段階。
- フェスの開催、集客、企業とのマッチングなどを継続的に実施可能にする体制を構築。



認知～呼び込み～開催～マッチングが循環するエコシステムを構築し、継続的な事業展開を実現。

次年度事業計画：フェス・ツアー連携と企業マッチングの強化

フェス・ツアーの一体化とマッチング促進

- 今年度好評のフェスとツアーを一体の企画として認知させ、期間を空けずに実施。
(参加人数：フェス30名×2回開催＆ツアー8名×2回開催)
- アンケートで高評価だった企業代表者との対談時間を拡充。
- 企業の背景や風土を感じられるツアー内容で、雇用マッチングの機会を創出。



フェス開催 短期間 ツアー実施 対談拡充 雇用
マッチング

FUKUSHIMA WWW.による連携企業開拓の深化

- スタッフが3自治体のほぼ全ての企業を訪問。
- サッカーチームを核とした事業者連携を、より広く深く継続的に推進。





Event & Discussion		2026 JAN 17.18 開催
8:00- 東京発→浪江駅	1:30H	2026 JAN 17.18 開催
学生会場に到着	13:30H	
・開講からの学生団体と休講不良で引き返しへ参加人数1名		
12:00- 浪江町にてランチ	1:00H	
道の駅みなみで地元グッズ、土産		
B級グルメの販売などそもそも大人気！		
多くの人が購入立ち寄ります		
13:00- 株式会社バイオマスレジン福島県	1:00H	
新素材を「捨てるお米」で開発！		
日本の食糧供給は資源政策や、災害時の食糧確保など、バランスを取るのが困難。		
近年、米不足で「廃棄」というワードも		
聞き慣れた言葉になりました。		
SDGs		
新素材を活用すれば廃棄米を活用したプラスチックを生み出している企業の見学！		
14:45- 陸上で養殖！？	0:30H	
JR東日本が出資中の陸上養殖を見学！		
一次産業の後押しには多くの課題がある浪江町。		
原発からの海洋放出など、ニュースで聞いたあのワード現地今、どんな状況？？		
そんな所で、進む取り組みとは？？		
15:30- 銀行マンが一軒農家へ？！	2:30H	
JR東日本が出資中の陸上養殖を見学！		
都内在住のリーバリの銀行マンが一軒、浪江での農業へ参戻。		
浪江の「蔬菜の現状と今後の農業を考え農作業や収穫体験を通じて共に学び共に考え、共に食す！		

当日のご連絡は090-3286-2375（担当READY SOCIAL株式会社 佐藤）までお願い致します。



2026 JAN 17-18 開催

- 18:00 涼江の大地を食す！
それぞれの感想など交流
- 19:30 TASTUNO BASEでキャンプファイアー
涼江の大地で食事を囲む！
人数少なめTASTUNO BASEでの宿泊できなくなっ
た為、涼江のスーパーに買い出しし、個別会話を飛び出
し深い交流もなった（東京大学の豪機部）の話題！
- 9:00 涼江産の食材で、新たな名物を開発
学生自らの新たな涼江産品！
CREVA おおくま
- 12:30 大野を出発
福島来訪ありがとうございます！

2026 JAN 17-18 開催

Event & Discussion

2026
FEB
7-8
開催

Event & Discussion

18:00 滂江で食事 & こんどこそで交流会
それぞの感想など交流

19:30 滂江テラスにチェックイン
1日の疲れをいやしてください

明日に備えて
おやすみなさい！

9:00 大熊インキュベーションセンター見学
スタートアップの聖地

2019年に一部避難解除がされた大熊町の新たな拠点元大熊小学校をリノベーションした大熊インキュベーション施設ではこれまで160社が通算登録し活動した。現在、152社が入居し活動をしている。

13:30 FUKUSHIMA WWW.の活動紹介
なぜ、ここで女子サッカーチーム？

2011年の東日本大震災で大きな被害にあった。岩手・宮城・福島が2026年で15年を迎える今、福島の復興は終わっておらず、まさに始まったばかりと言える状況は忘れさせない。そして、働きながら女子サッカー選手としてプロを目指す選手たちの姿を通じて、福島の復興をワクワクと感動で包み込みたい想いの真髄を聞く

15:21 滂江を出発
福島来訪ありがとうございます！

- 8:00 東京発—いわき好間到着
8:00発のいわき行き高速バス
- 2026 FEB 27.28 開催
- 12:00 滂江町にてランチ
道の駅みえで地元グルメ堪能
B級グルメのなみえ焼そばは大人気！
なみえの道の駅に立ち寄ります
- 13:00 株式会社バイオマスレジン福島見学
新素材を「捨てるお米」で開発！
日本の食糧事情は減農政や、災害時の
食糧確保など、バランスを取るのが困難。
近年、米不足で「備蓄米」というワードも
聞き慣れたことがあります。
備蓄米も期限を過ぎれば廃棄姑です。
この捨てられる備蓄米を活用したプラスチック開発
している企業の見学！
SDGs
- 14:45 陸上で養殖！？
JR東日本が出資中の陸上養殖を見学！
新技術
- 15:30 住友商事が取り組むまちづくり
Snow peakコラボのカフェ？
新技術

当日のご連絡は090-3286-2375（担当READY SOCIAL株式会社 佐藤）までお願い致します。

当日のご連絡は090-3286-2375（担当READY SOCIAL株式会社 佐藤）までお願い致します。

Event & Discussion

ツアーアー
(非公式)
2026/02/7-8
参加人数10名
参考資料





一次産業連携企業 13社

- ・ARK(株)
- ・恒栄電設(株)
- ・(株)ちーの
- ・(有)ランドビルド
- ・浪江未来ファーム(株)
- ・やごろうファーム
- ・(株)浪江の大地
- ・(株)Re Fruits
- ・福島舞台ファーム(株)
- ・Jyubako cafe(Snow peak)
- ・(株)バイオマスレジン福島
- ・(株)wood info
- ・Ichido(株)
- 他

